『平岸GOGOベンチプロジェクト』が始動! 『平岸マルシェ』も間もなく始まります!

札幌市では、地域の皆様とワークショップなどを重ねながら、令和元年に「平岸まちづくり指針」を策定しました。

皆様からいただいたご意見をもとに、指針に基づく新しいまちづくりの取組が始まっています!

平岸GOGOベンチプロジェクト



人気のカフェでは、屋外で密にならずに飲食できるよう、道路占用の取組とあわせてテーブルやベンチを設置しています。

平岸グランドビル前



地域交流サロン「ぴらけし」 の前にも設置しています。

自石・中の島道

CAFE BREWEDBASE #1

ベンチの手交式を実施しました

9月7日(月)、木製ベンチの手交式を 実施し、誰もが自由に利用できるよう、 平岸通沿道の店舗前などにベンチ5基設 置しました。

地域のさらなる活性化と、新型コロナウ イルス感染症の影響でニーズが高まって いる屋外の休憩・飲食スペースの創出を 目指して始まった取組です。

昨年度実施した「平岸の未来づくりワークショップ」などでもご提案のあった、「ベンチがあったらいいのに!」というアイデアをもとに、平岸中央商店街振興組合と連携し、プロジェクトを実施しました。



完成したベンチは、平 岸中央商店街振興組合 に寄贈し、平岸通のお 店の前など、5か所に 設置しました。





座りながらバス待ちできるよう、空知信用金庫・北洋銀行 にご協力いただき、バス停の前にも2か所設置しました。



空知信用金庫 平岸支店前



シルバー人材センターの方の手作りで、可動式のテーブルとリンゴ倉庫をイメージした赤茶色が特徴です。 リンゴのオブジェは、平岸らしさを演出するため、地域の方に製作していただきました。

第1回 平岸マルシェを開催します!

平岸ハイヤーの主催で、第1回『平岸マルシェ』を開催します!

平岸の人たちにとって【楽しい場所】を作り、【ライフスタイルの一部】ともなる【住む理由】を作り出 し、まちの活性化につなげたいという想いから、平岸ハイヤーが中心となり、「地域密着」の取組として、 マルシェを開催します。

平岸まちづくり指針に基づく地域のにぎわいづくりの取組として、札幌市も応援していきます。

1回だけのイベントにとどまらず、来年春以降の定期開催を目指しています。

11月3日 (火・祝)

物販ブース 10:00~15:00 飲食ブース 10:00~18:00 平岸八イヤー敷地内・ 柳田家住宅旧りんご蔵 (豊平区平岸2条4丁目5-15)



内容

りんごにちなんだ物販や、キッチンカーなど最大28ブースが 出店し、りんご蔵もマルシェ会場として活用します。

同時開催:お下がり交換会 ✓ いらなくなった洋服を持ち寄る、子どもが着られそうな洋服を持ち帰るという取組です

平岸マルシェの実施内容は一部変更の可能性があります

※平岸マルシェでは、お客様用の駐車場のご用意がないため、お車でお越しの際は近隣の有料 駐車場などをご利用いただきますようお願いいたします

体制

主催:平岸ハイヤー 運営:平岸マルシェ実行委員会 後援:平岸中央商店街振興組合・札幌市

連絡先 平岸マルシェ実行委員会(平岸ハイヤー内) TEL:011-831-8111 担当:井上

りんご蔵のリノベーションと活用

柳田家住宅旧りんご蔵は、大正末期に建てられたもの とされ、現在残っているレンガ造りのりんご蔵の中で も最も古いものと考えられており、登録有形文化材に も指定されています。

「地域の人が集まる場所を作りたい」という想いから、 平岸ハイヤーでは、りんご蔵を様々な活用ができるよ うに、キッチンの設置・電気の開通・2階をフリース ペースとするなど、今夏リノベーションしました。 今回のマルシェも、りんご蔵を活用することで、より 魅力的な取組になるよう進めています。

地域の皆様にどんどん活用していただきたいです! (平岸ハイヤー神代社長)









平岸りんごの歴史について

平岸地区は、かつて「平岸りんご」の産地として全国的に知られており、地区の主要産業として昭和30年代まで 盛んにりんごが栽培されました。りんご保管用倉庫も各所に建てられており、 今も残されるレンガ倉庫や札幌軟石倉庫は、りんご園が広がっていた地域の歴史

を伝える貴重な存在です。

代表的なものとして、札幌景観資産にもなっている旧中井家リンゴ倉庫(平岸3条 2丁目)は、現在は商店街の事務所と、太鼓道場として地域の人々に活用されてい ます。また、サッポロ珈琲館平岸店(平岸2条6丁目)は、リンゴの選果場であっ た建物を再利用し、当時の趣きをそのまま活かしたお店になっています。



旧中井家リンゴ倉庫

